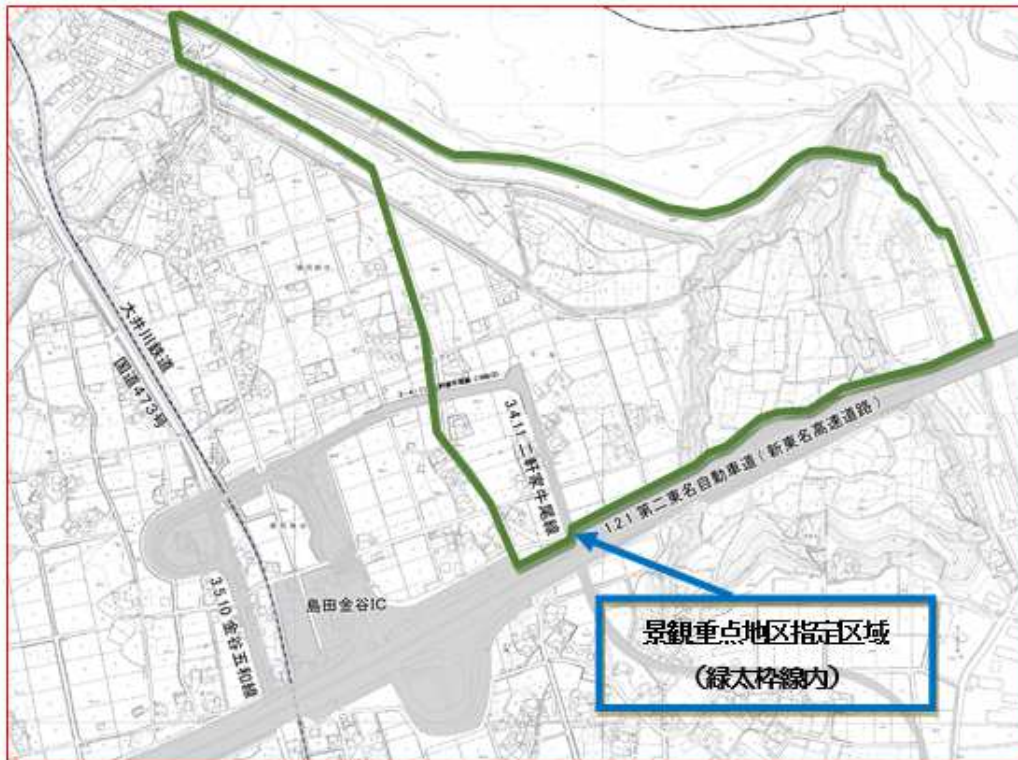


## 新東名島田金谷インターチェンジ周辺地区

### ア 区域



### イ 景観の形成方針

- ・山並みの緑に囲まれた田園風景と調和した、自然素材色など落ち着いた色を主体とした基準とする。
- ・地区のシンボルである牛尾山周辺の景観への配慮を目指した、景観重点地区の区域とする。
- ・本地区のまちづくりにおいて誘導する土地利用のうち、特に景観に与える影響の大きい、比較的大規模な建築物等（商・工業施設等）を対象とする。

### ウ 届出を必要とする行為（特定届出対象行為）

区分	行為及び規模
建築物	<ul style="list-style-type: none"><li>・新築にあつては、当該建築物の高さが15mを超えるもの又は延べ床面積の合計が1,000㎡を超える場合</li><li>・建築物の高さが15mを超えるもの又は延べ床面積の合計が1,000㎡を超えるもので、当該建築物の増築、改築又は移転に係る部分の延べ床面積の合計が10㎡を超える場合</li><li>・建築物の高さが15mを超えるもの又は延べ床面積の合計が1,000㎡を超えるもので、当該建築物の外観の変更（修繕・模様替・色彩の変更）に係る部分の見付面積が当該部分を含む面の見付面積の1/2を超える場合</li></ul>

<p>工作物</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新築、増築、改築又は移転を行う場合は、当該工作物（風力発電設備を含む。次において同じ。）の高さ（増築の場合は増築後の高さ）が15mを超える場合</li> <li>・工作物の高さが15mを超えるもので、外観の変更（修繕・模様替・色彩の変更）に係る部分の見付面積が当該部分を含む面の見付面積の1/2を超える場合</li> <li>・太陽光発電設備（建築物に設置するものを除く。以下同じ）の事業区域（太陽光発電設備を設置し、当該太陽光発電設備を用いて発電する事業を行う一団の区域をいう。以下同じ。）の面積が1,000 m<sup>2</sup>以上で、当該設備の新築、増築、改築又は移転に係るもの</li> <li>・太陽光発電設備の事業区域の面積が1,000 m<sup>2</sup>以上のもので、当該設備の外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更による当該設備の外観の変更に係る部分の見付面積が当該部分を含む面の見付面積の2分の1を超えるもの</li> </ul>
------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## エ 景観の形成基準

- ・建築物及び工作物の外観の基調となる色彩の制限を右図のとおりとする。
- ・ただし、着色していない木材、土壁、ガラス等の材料によって仕上げられる部分の色彩、または見付面積の10分の1未満の範囲の部分の色彩（アクセント色）については、この限りでない（現行の大規模建築物等の色彩基準と同様）。

## ■ 外壁の色彩基準

### 【色彩基準の基本的考え方】

- ・牛尾山等の緑と調和した落ち着いた色彩とし、彩度（色の鮮やかさ）について、低彩度のものに制限する。
- ・色相（色の種類）、明度（色の明るさ）は、地域資源を活かした産業活性化を目指す土地利用方針から、地区のイメージ色等の設定が困難なこと、既に幅広い色相や明度の建築物が立地していることから制限は行わない。

### 【色相・彩度・明度の範囲】

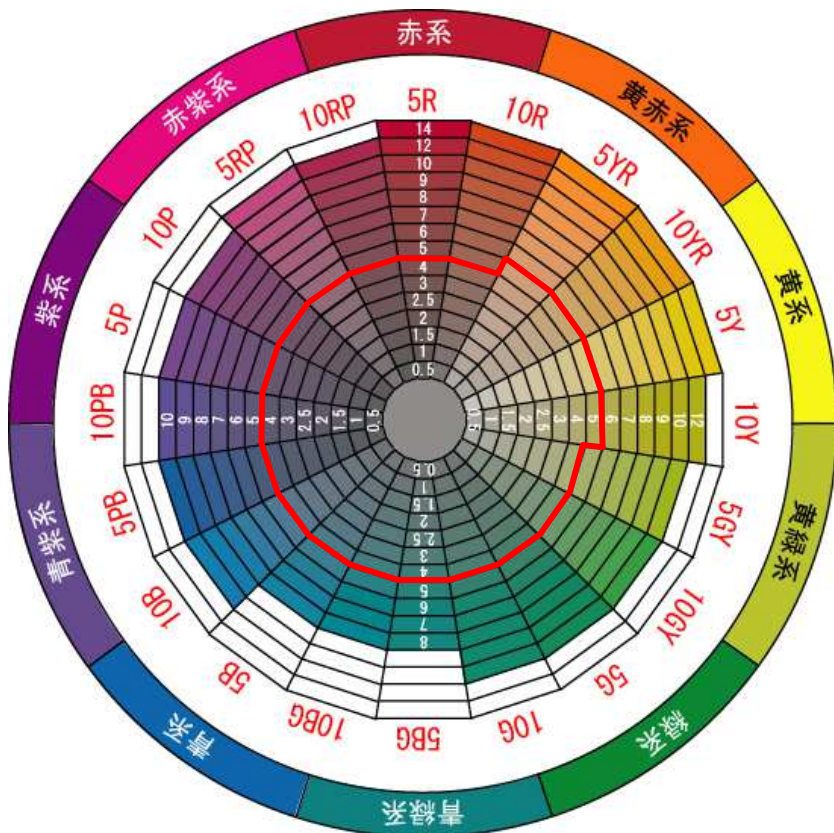
色相	明度	彩度
0.1YR～10Y (0GY)	制限なし	5 以下
上記以外の色相	制限なし	4 以下
無彩色は、N1～N9.5（制限なし）		

※表の数値、記号は日本工業規格 Z8721（色の三原色による表示方法）の規定による。

## ■ 色相・彩度の範囲

本地区の色彩基準（赤枠線）

- ・地区のシンボルである牛尾山等の緑と調和した落ち着いた景観を形成するため、低彩度（4～5 以下に設定）とする。




**【色相】**  
10種の基本色(赤、黄赤、黄、黄緑、緑、青緑、青、青紫、紫、赤紫)の頭文字をとったアルファベットとその度合いを示す。0から10までの数字を組み合わせて表す。

**【明度】**  
明るさの度合いを0から10までの数値で表す。暗い色ほど数値は小さくなる。

**【彩度】**  
鮮やかさを0から14程度までの数値で表す。白、黒、グレーなどの無彩色の彩度は0となる。

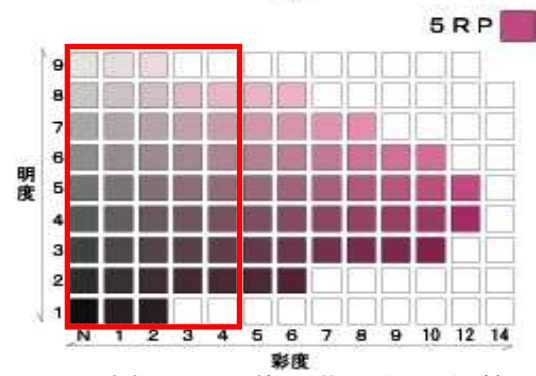
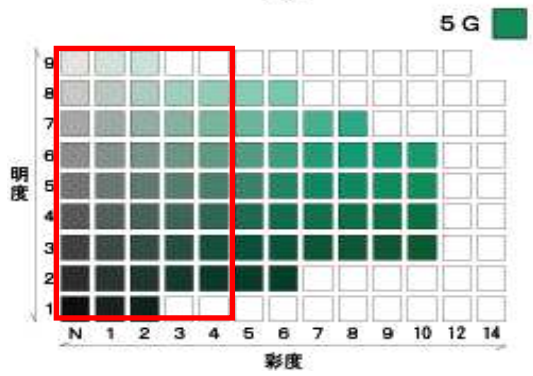
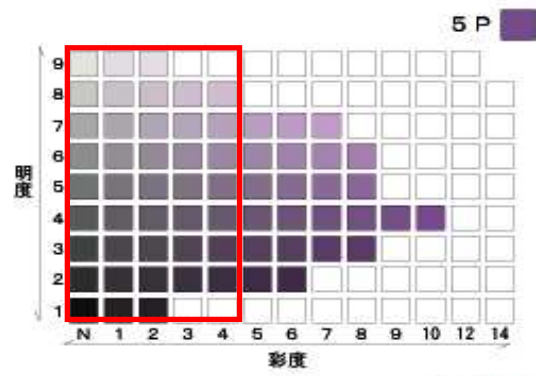
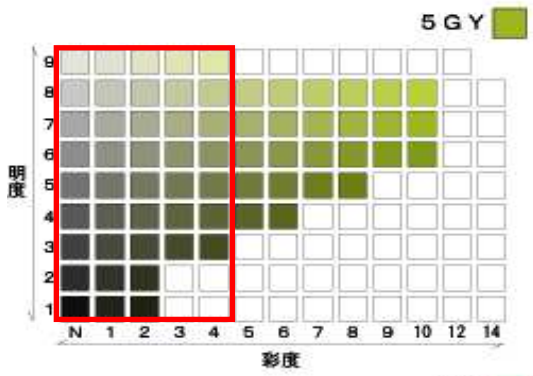
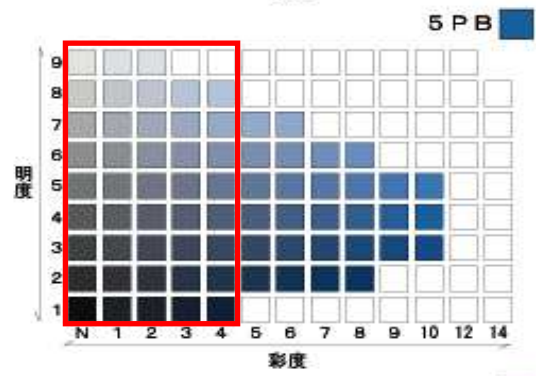
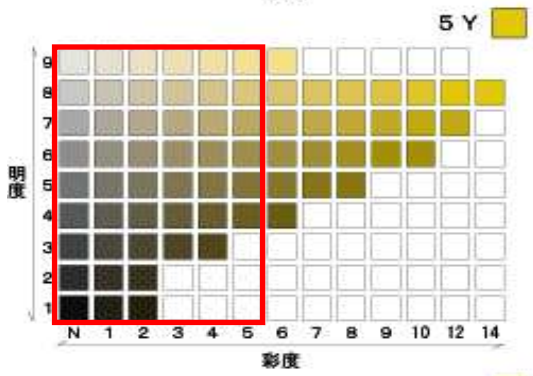
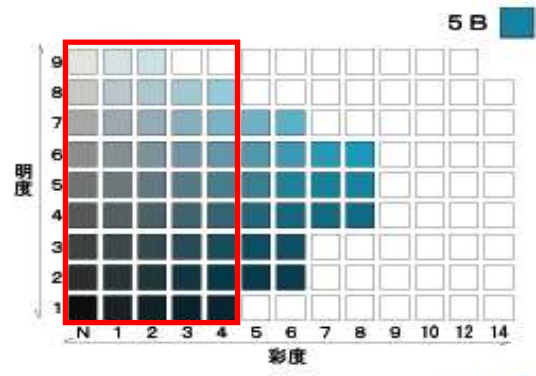
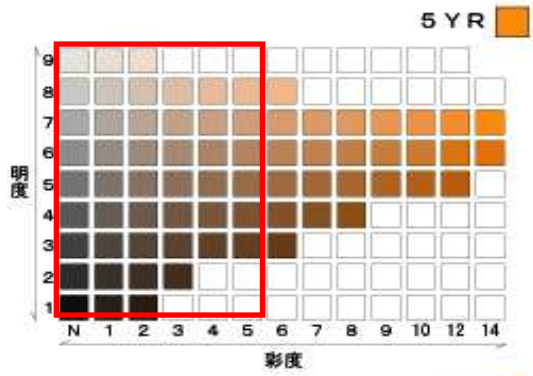
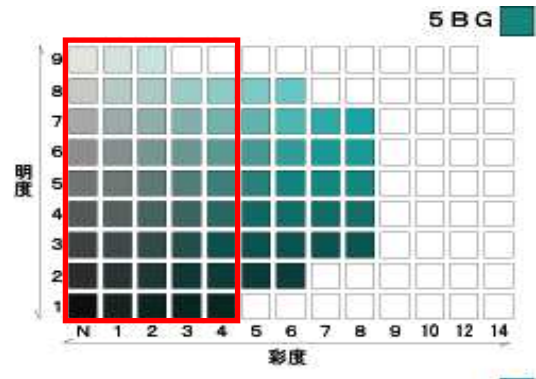
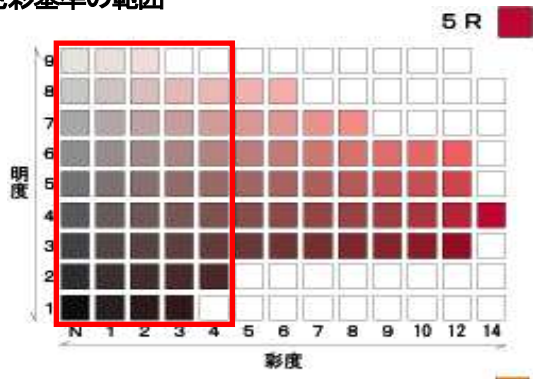
**【マンセル記号】**  
マンセル記号は、これら3つの属性を組み合わせて、ひとつの色彩を表記する記号である。有彩色は、5YR7.0/2.0のように、色相、明度/彩度を組み合わせて表記し、無彩色は、N6.0のようにニュートラルを表すNと明度を組み合わせて表記する。



**5YR 7.0 / 2.0**

色相-色合い 明度-明るさ 彩度-鮮やかさ  
マンセル 7 の 2

■色彩基準の範囲



※印刷による色表現のため、実際のマンセル値とは若干異なる場合があります。